

科目名	現代政治学特講	担当者	アオキ 青木 カズヨシ 一能	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>今日の世界は市場主義化による経済的統合傾向を顕著にする一方、政治面では国内外でいまだ混沌のなかにあり、安定への兆しは窺えない。加えて市場主義経済のなかで格差は拡大・深刻化し、その政治的対応に苦慮する国も多い。なかでもリベラル・デモクラシー体制下にある国では「機会の平等」という政治的意義が形骸化し、その存在意義すら問われ始めている。そのために「民主主義の民主化」という課題が多く、多くの国で検討されて久しい。つまりは21世紀の新たな状況のなかで、民主主義そのものの役割・意義を改めて検討し、その最適な機能の再構築を図る必要性が生まれている。</p> <p>そこで本特講では、従前の民主主義論を理解したうえで、今日のグローバリゼーションと呼ばれる時代状況のなかで民主主義政治に照射し、今日の世界が抱える問題解決において民主主義が果たする役割やそのために必要な制度改革などを検討することを目的とする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. まずは民主主義とはなにか、といった基本的な内容の把握に始まり、国家の枠組みを弛緩（あるいは変質）させているグローバリゼーションの潮流の下でデモクラシーの果たす役割を検討し、今日の状況のなかでの民主主義の新たな存在意義を把握する。 2. 今日の世界において安定した国内秩序および世界の危機管理装置を構築するために果たしうる民主主義的制度の在り方を認識する。 		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. まず教材の読解を十分にし、同時に関連する分野の文献などを読破して自らの知識・理解を重層的に豊かにすることが望まれる。 2. その段階で、レポートを書く以前の準備として教員との意見交換を活発に行い、逐次、指導、アドバイスを受けて欲しい。 3. それらを総合して最終的なレポートのまとめに入ることを望む。ただし、その場合、教材の意味の把握や要約のみに留まらず、自らの見解を反映させた内容にすることが重要である。 		
スケジュール	<p>前・後期ともに最終提出期限の少なくとも1ヶ月前に草稿レポートを送付することが望まれるが、上記のように、その前段として教材の把握、理解、疑問などに関してメールなどで教員とのコミュニケーションを図ることが求められる。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	教材内容を十分に理解し、かつ自らの意見や主張を反映させた形の内容にしているかを基準とする。
	平常評価	30%	意見交換などのプロセスを含めて、その取り組み姿勢などを平常評価として勘案する。
履修者への要望	<p>上記にも触れたように、教材の意味内容の把握だけに終わることなく、それを前提として自らの意見を反映できる、あるいは本特講を通じて、今日の政治状況に関心を持ち、その改善、改革に対して所見を持ちうるような努力を図ること。</p> <p>グローバリゼーションは主に経済面からのアプローチに重点が置かれがちだが、まさにそこで生ずる様々な問題や障害の克服は「政治」の調整能力や主導力に依るところが大きい点を十分に認識して取り組んで欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 森政稔 教材名： 『変貌する民主主義』（筑摩書房，2008年）ISBN:978-4-48-006424-0 840円+税 著者名： 柄谷行人 教材名： 『世界共和国へ 資本=ネーション=国家を超えて』（岩波書店，2006年）ISBN:978-4-00-431001-3 780円+税 グローバル化と新自由主義，ポピュリズムとナショナリズムの台頭，「国家の揺らぎ」といった様々な視点から現代の諸相を捉えていく．さらに一元化する世界の動向のなかでネーションや資本といった事項のゆくえを捉えていく。
参考図書	白鳥令・曾根泰教編『現代世界の民主主義理論』（新評論，1984年）ISBN:978-4-79-485011-9 3,000円+税 渡辺靖『アメリカン・デモクラシーの逆説』（岩波書店 2010年）ISBN:9784004312772 820円
履修上のポイント	グローバリゼーションの深化のなかで経済面での優劣が社会的歪みを生み出す危険性が広がっている。それを如何に調整し，社会的安寧をもたらすかは政治の大きな課題であるが，同時に政治そのものの質的変化（改善）が求められている。その点において教材に挙げた書は民主主義という側面から現代社会を把握しようとする。
レポート課題 1	課題 1 は，上記に掲げた 2 冊を通読し，グローバル化と新自由主義との相互作用を把握し，新自由主義の地球化のなかで民主政治の在り様について受講者の視点からまとめてみる。 留意点 ：まとめ方については，とくに重要と思われるイシューを取り上げるか，あるいは総合的に捉えるかは各自の判断に任せたい。
レポート課題 2	課題 2 は，今日の国家機能が変質している諸要因について教材から整理するとともに，それが社会に及ぼす影響について自己の見解を中心に纏める。 留意点 ：それを補完するために，参考図書で挙げたもの，あるいはその他の資料などを十分に利用して欲しい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： ジェリー・ストーカー，山口二郎 教材名： 『政治をあきらめない理由 民主主義で世の中をかえるいくつかの方法』（岩波書店，2013年）ISBN:978-4-00-025889-0 3,200円+税 「国家の揺らぎ」のなかでデモクラシーを新たな視点で捉え，国民から地球市民への概念の再構成を考察するものである。
参考図書	青木一能編『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006年）ISBN:978-4-75-561194-0 2,000円+税 白鳥令・曾根泰教編『現代世界の民主主義理論』（新評論，1984年）ISBN:978-4-79-485011-9 3,000円+税 姜尚中ほか『デモクラシーの冒険』（集英社，2011年）ISBN:9784087202663 777円
履修上のポイント	グローバリゼーションの深化のなかで経済面での優劣が社会的歪みをもたらす危険性が高い。それを如何に調整し，社会的安寧をもたらすかは政治の大きな課題であるが，同時に政治そのものの質的変化（改善）が求められている。その点において教材に挙げた書は一つの重要なヒントを提示するものであり，著者のヘルドが言おうとすることは世界で大きな注目点になっている。それを踏まえて各章の理解を十分に行って欲しい。
レポート課題 1	課題 1 では，基本教材のなかから興味を持つ論点を選択して，そこでの言及内容と自己の見解を交錯させつつレポートをまとめてほしい。 留意点 ：できるだけ教材を熟読し，それに関連した文献をあたりながら課題をまとめてほしい。
レポート課題 2	課題 2 では，教材のⅢ部を中心に課題 1 と同様なかたちでまとめて欲しい。 留意点 ：これを補完するために，参考図書で挙げたもの，あるいはその他の資料などを十分に利用して欲しい。